



● 草の根パートナー型

平成15年度第2回 採択内定案件

I. 提案事業の概要	
1.国名	エチオピア
2.事業名	エチオピア国ラリベラ水プロジェクト
3.事業の背景と必要性	ラリベラはアシスアベバの北600kmに位置し、人口は12,200人。37のカバレ（行政地区）があるブグナワレダ(ブグナ郡)に属する。12世紀以来エチオピア正教会の聖地で、近年ユネスコの世界遺産に登録されてからは、世界中から旅行者が訪れている。しかし、旅行者の増加により水の使用量が激増し、雨季の直前は水不足から1週間にも及ぶ断水がたびたびある。ラリベラとその周辺カバレの水の供給は現在でも完全に不足状態であるが、今後旅行者は増加傾向にあり、水不足はさらに深刻な問題となる。これを解決するには溜池を作り、雨期(年間3ヵ月半)の間に水をため、乾期の水不足に備えることが最適である。
4.事業の目的	住民参加による溜池整備を通じて、安定した水供給と住民主体で水資源開発を行う基盤が整備される。
5.対象地域	ブグナワレダ（37カバレ）
6.受益者層	直接的受益者：ラリベラ住民12,200人 間接的受益者：周辺地域住民193,100人 及び旅行者（年間50,000人）
7.活動及び期待される成果	<ul style="list-style-type: none"> <li>ブグナワレダ内に8箇所の溜池を整備することにより、住民が年間を通して生活・農業用水を得られる。</li> <li>住民への啓蒙活動を行うことにより、溜池の整備と植林が水資源涵養につながることを住民が理解し、溜池周辺に植林が行われる。</li> <li>住民参加による溜池整備及び溜池の維持管理にかかる技術指導を通じ、溜池が住民によって適正利用、維持管理される体制が整備される。</li> </ul>
8.実施期間	2004年12月～2007年12月（3年間）
9.事業費	第一年度契約金額：2,865千円（精算金額：2,819千円） 第二年度契約金額：14,337千円
10.事業の実施体制	フー太郎の森基金の日本事務局にプロジェクト本部を置き、プロジェクトマネージャーが年数回現地へ赴き、調査やプロジェクトの進捗状況を監督する。 プロジェクト実施本部はラリベラの事務所に置き、ブグナワレダ、地区役場、DPPCや住民と協力しながら、プロジェクトを運営する。
II. 実施団体の概要	
1.団体名	特定非営利活動法人 フー太郎の森基金
2.活動内容	エチオピア：緑化事業・水事業・衛生事業・教育事業 国内：緑化キャンペーン事業・ネットワーク推進事業